

Contents /目/次/

行政情報

北海道の生物多様性フォーラム
生物多様性 わかる・感じる。…………… 1
北海道環境生活部環境局自然環境課

北海道バイオリサイクルフェスタシンポジウム
北海道のバイオマス利活用…………… 7
北海道バイオリサイクルフェスタ実行委員会事務局
(北海道環境生活部環境局循環型社会推進課)

多言語案内表示ガイドラインの活用に向けて……………13
北海道運輸局企画観光部観光地域振興課

視点論点……………20
北海道のバイオマス利活用とABC開拓構想 古市 徹

エッセイ……………24
地域資源のトータルプロデュース 第9回
名称(ネーミング)が持つ力 後藤 健市

シリーズ「公共交通活性化MM実践講座」第8回……………26
モビリティ・マネジメントによる交通渋滞対策 坪西 国夫

レポート……………28
草地整備における環境影響の経済評価……………28
山本 康貴

隔月連載 第1回……………32
植物たちのワイズユース～植物をもっと活かすための知恵と技術～
保存から活用へ 辻井 達一

information 告知板
日本計画行政学会第33回全国大会セクション「まちづくり・参加Ⅲ」……………36
環境フォーラム……………40
平成23年度地域活性化活動助成募集のご案内……………44
平成23年度研究助成募集のご案内……………45
平成22年度建設事業専門研修会開催のご案内……………46
平成22年度施工管理技術検定試験日程のご案内……………47

開発DIARY……………48



今月の表紙

北海道の近代化に貢献した「江別のれんが」 れんがのまち江別

江別でれんが製造が開始されたのは1891年(明治24年)。内陸部開発のための建築資材として、開拓によってれんがの使用が推進されました。江別市内やその周辺地域はれんがの原料となる野幌粘土を豊富に含んだ土壌を持ち、また資材の輸送に石狩川を使うことができたため、江別産のれんがは鉄道、トンネル、橋などのインフラや駅舎、サイロ、倉庫、学校、民家などの建造物に使用され、北海道の近代化に大きく貢献しました。市内には数多くのれんが建造物が現存し、市民と産官学が一体となって保存や活用の取り組みを行っています。2004年(平成16年)、「江別のれんが」は北海道遺産第2回選定分として認定されました。お問い合わせは江別市経済部商工労働課(江別観光協会) 011-381-1023

きり絵作家プロフィール

みとま まゆこ

東京都出身。94年に札幌へ移り住む。切り絵のほかにもさまざまな作品を手がけている。97年には切り絵作家「三苫 麻由子」として個展を開催。さらに江差町、留萌市など道内各地で交流を深める作品を発表。03年、京都で個展を開催。